

令和6年度 羽曳野市の予算

総額 842億9,416万円
一般会計 446億8,347万円

限られた財源とのバランスに配慮しながら、施策の選択と集中を図り、災害への備え、少子化・人口減少の克服に向けた子ども・子育て施策の充実や、地域の魅力発信など、未来につながる施策に重点を置いた予算編成となっています。

羽曳野市長 山入端 創

主なハード事業

道路整備事業 [6億7,323万円]

老朽化が進む道路について、順次改修等を進めます。また、令和6年度にあつては、都市計画道路八尾富田林線(羽曳野工区)の開通道路の整備や国道170号(大阪外環状線)西浦交差点部の改良に向けた工事を行うほか、引き続き恵我ノ荘駅前南側広場の整備に向け関係機関との協議を積極的に進めます。

重要給水施設へ至る配水管路耐震化更新事業[3億8,500万円]

地震発生時に病院や公共施設等へ安全で安定した水道水の供給を行うため、各施設に至る配水管路の耐震化更新工事を実施します。

第3認定こども園整備事業 [2億2,979万円]

既存の3つの幼稚園と1つの保育園を統合し、令和8年度の開園をめざす第3の認定こども園の整備工事を進めます。

主なソフト事業

子育てにかかる経済的負担の軽減 [1億2,279万円]

・物価高騰に伴う保育園・こども園・学校給食費支援
保育園・認定こども園・市立学校における給食費について、食材費高騰分の公費支援を行います。
・保育料第2子以降無償化
0～2歳児の保育料について、第2子の半額を無償に拡充し、第2子以降を無償とします。

健診機会の拡充 [2,198万円]

・成人歯科健診の対象年齢を拡充
成人歯科健診の対象年齢に20歳、30歳を加えるとともに、歯周疾患が増加しやすい40歳代については、毎年受診できるよう、健診機会の拡充を図ります。
・プレ特定健診の実施
生活習慣病の予防を目的とし、20歳から39歳までの国民健康保険加入者を対象としたプレ特定健診を実施します。
・5歳児健康診査(乳幼児フォロー健診に従事する小児神経専門医の参画)
乳幼児健診の対象に5歳児を加え、府内初の取り組みとして、小児神経専門医による健康診査を行い、子どもの成長や発達に対する適切な支援を図ります。

第1回定例市議会で可決承認された令和6年度当初予算

—羽曳野市の予算—

<一般会計>

福祉、教育、ごみ処理、道路などの一般的な事業を実施するための予算で、羽曳野市の事業の大部分を占めています。

<特別会計>

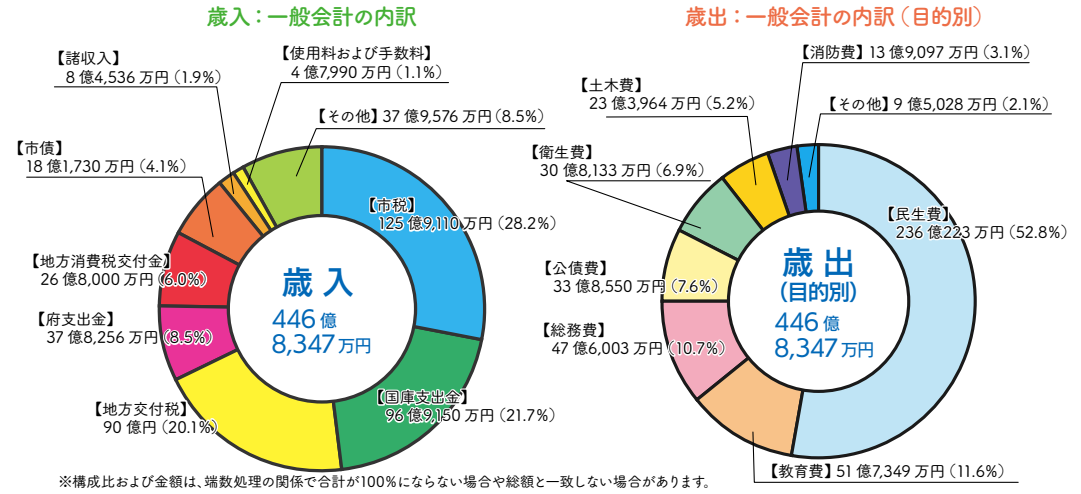
一般会計とは区別して特定の事業ごとに経理する予算で、羽曳野市には6つの特別会計があります。

※端数調整のため、各会計の合計値と総額の値は一致しないことがあります。
※下水道事業会計については、平成30年度より公営企業会計を適用しています。

会計名	令和6年度	令和5年度	伸び率
一般会計	446億8,347万円	448億1,714万円	-0.3%
国民健康保険特別会計	128億1,146万円	131億5,416万円	-2.6%
と畜場特別会計	1億5,861万円	1億5,421万円	2.9%
財産区特別会計	14億3,774万円	14億7,023万円	-2.2%
介護保険特別会計	120億2,806万円	116億1,274万円	3.6%
土地取得特別会計	6億1,348万円	5億9,977万円	2.3%
後期高齢者医療特別会計	22億9,801万円	20億8,619万円	10.2%
水道事業会計	35億5,684万円	45億5,440万円	-21.9%
下水道事業会計	67億647万円	67億7,492万円	-1.0%
総額	842億9,416万円	852億2,375万円	-1.1%

歳入・歳出 一般会計の内訳

—羽曳野市の予算—



※令和6年度予算書は、ウェブサイトまたは情報公開コーナー(市役所本館1階)にてご覧になれます。
※ウェブサイトでは、市の財政状況を分かりやすく解説しています。詳しくはこちらをご覧ください→

【問合せ】財政課 ☎ 072-958-1111 (内線 3562)

